



つるみね  
神奈川県立鶴嶺高等学校



〈学校案内図〉

利用交通機関

- JR 相模線 北茅ヶ崎駅 下車 徒歩 12分
- JR 東海道線 茅ヶ崎駅  
北口①②番乗場よりバス乗車  
「ニュータウン入口」下車 徒歩 2分  
※①②番からのバスは、すべて  
「ニュータウン入口」を通ります。

所在地 神奈川県茅ヶ崎市円蔵1丁目16番1号  
 電話 (0467)52-6601  
 F A X (0467)54-2124  
 U R L <http://www.tsurumine-h.pen-kanagawa.ed.jp>  
 創立 昭和50(1975)年  
 課程 全日制  
 設置学科・生徒数・学級数

	1年	2年	3年	計
普通科	396	390	385	1171
学級数	10	10	10	30

(生徒、学級数については平成30(2018)年5月1日現在)



(1) 学校の特徴

○学校の概要

昭和50(1975)年に開校し、今年、創立44年目を迎えました。本校では開校当初から、毎年、海外帰国生徒や外国人留学生を受け入れてきました。

これまでの卒業生数の合計は16,715名で、国内外の各分野で活躍しています。バス通りから正門に至るまでのイチョウ並木、緑豊かな中庭が本校の歴史と伝統を感じさせています。

○教育方針・教育目標

「教養豊かにして国際感覚に富み、心身ともに健康で意志強く、常に相手の立場を尊重して行動できる人間を育成する。」を教育方針とし、「豊かな知性と徳性の涵養、充実した体力の育成、個性と能力の開発、広い視野の養成」を教育目標としています。

外国人の先生と英語を楽しく学びながら、学力をつけるとともに、豊かな国際感覚を育てることを目標に、国際教育を進めています。これまで13年間にわたりイギリスの高等学校、8年間にわたりドイツの高等学校、6年間にわたりニュージーランドの高等学校と交流があります。どちらも受け入れの際は、ホストファミリーを本校生宅にお願いしています。今年度、本校からはニュージーランドに20名、イギリスの学校に20名、計40名が訪問し、現地でホームステイをしながら、学校に通い日本文化のプレゼンテーションを行ったり、現地の生徒と一緒に勉強したりしながら交流を深めています。

一方、青少年赤十字(JRC)や福祉委員、PTAを中心に、ボランティア活動への参加も盛んです。毎年、老人ホームを訪問したり、保育園や病院で一日体験学習をしたり、手話を学んだり、キルトを作成し海外に送り届けていたりしています。

## ○学校行事

全生徒がゆかた姿で踊る民謡が名物の体育祭、個性豊かな秋の文化祭など、生徒が企画する学校行事がたくさんあります。クラス対抗で競う合唱祭も恒例の行事です。また、ここ数年の修学旅行は北海道もしくは沖縄で実施しており、歴史・文化・自然にふれるとともに、人権に関する学習を行っています。

## ○部活動

運動部は男女合わせて21部、文化部は11部、同好会が5団体あります。80%以上の生徒が部活動に所属していて、活動は非常に盛んです。

平成28(2016)年度は陸上競技部(女子800m・女子走幅跳)、女子ソフトテニス部、吹奏楽部(アンサンブルコンテスト:クラリネット五重奏)、文芸部(短歌の部)が関東大会に出場し、女子ソフトテニス部はインターハイにも出場しました。平成29(2017)年度は、女子バレーボール部、陸上競技部、フットサル部が関東大会に出場しました。平成30(2018)年度は、さらなる活躍を目指しています。

## ○施設・設備

特別教室を含む54教室にエアコンを設置するなど、快適な学習環境を整備しています。国際交流室やコンピュータールーム、充実したトレーニング機器を備えたトレーニングルームなど、特色ある施設もあります。また、自習室では、放課後や夏休み中にも登校して勉学に励む生徒の姿が見られます。

### (2) 教育課程

三学期制の普通科の学校として、学習活動を充実させています。センター試験に対応する科目で学力の充実を図ります。また、新しい大学入試制度に対応する英語4技能の取組を行っています。

また、2年次では進路に応じて科目選択を行い、さらに3年次においては、進路目的に沿ったより細やかな科目選択が可能な教育課程を編成しています。

### (3) 海外帰国生徒の学習

海外帰国生徒の入学のための特別募集が、各学年15名、計45名あります。現在、1学年8名、2学年6名、3学年14名の海外帰国生徒が在籍しています。

海外帰国生徒はできるだけ早く本校の教育になじむように、一般のクラスルームに所属します。しかし、海外帰国生徒の在留国および在留年数が多様であり、また、日本語の理解力や現地校の学習科目・学習進度が異なっているため、いくつかの科目で「特別授業」を行っています。その科目の特別授業を受けるかどうかは、担当の先生との話し合いによって決めます。

日本語の理解も進み、本校の授業にも慣れてきたら、担当の先生と相談し、その結果により学期の途中で所属クラスの授業に戻ることも可能です。

### (4) 海外帰国生徒の卒業後の進路

「入れる大学」ではなく「入りたい大学」を目標に、本校の卒業生のほとんどが進学を目指しています。